

ネパール国

森林利用グループに対する「みつまた」の栽培・加工技術に係る普及・実証事業 株式会社かんぽう(大阪府)

ネパール国の開発ニーズ

- 地方農村部や山岳・丘陵地帯の貧困削減
- 地域資源を活用した「非木材林産物(NTFPs)」による森林利用グループ(FUG)の収入機会の創出または増加
- 森林利用グループ(FUG)の能力・活動強化

普及・実証事業の内容

- カウンターパートによる高品質「みつまた」の栽培・加工技術の普及モデルの実践と検証、その後のモデルの普及
- 高品質「みつまた」の生産者グループ(FUGや私有林所有者)の生産・管理能力の強化
- ネパール国内外への新たな販路開拓の可能性の検討

提案企業の技術・製品



質の高い「みつまた」の樹皮を生み出すための技術:

- ①栽培技術
- ②加工技術

事業概要

相手国実施機関:

- [中央] 森林環境省
- [州] 産業・観光・森林環境省
- [郡] 森林事務所

事業期間:

2019年7月～2022年6月

事業サイト:

イラム郡およびパンチタール郡(ともに第1州)、ドラカ郡(第3州)、カトマンズ市内

ネパール国側に見込まれる成果

- 質の高い「みつまた」樹皮の栽培・加工技術とその普及モデルを活用した、NTFPs生産の多様化ならびにFUGの活動の活性化
- 生産者グループ(FUGや私有林所有者)による高品質「みつまた」の生産拡大と、それによる収入機会の創出または増加

日本企業側の成果

現状

- 「みつまた」を原材料とする紙幣(日本銀行券)等、国内需要を満たす安定した供給量の確保が難しい

今後

- 質の高い「みつまた」樹皮の日本国内への安定的供給と取引量の増加
- ネパール国内外市場を視野に入れた、紙原料としての「みつまた」並びに「みつまた」からなる手すき製品の販売・輸出開拓